

2014年4月10日

デルタ航空、長距離国際線のエコノミークラスにスリープキットを導入、機内サービスを強化

【東京、2014年4月10日】 – デルタ航空(NYSE: DAL)はこのほど、長距離国際線のエコノミークラスのお客様向けに新たに「スリープキット」を導入したほか、機内サービスアイテムを強化しました。対象路線は、日本発着の米国本土路線、ハワイ路線、シンガポールおよびバンコク路線のほか、韓国、中国、オーストラリアと米国本土を結ぶ路線、大西洋路線などが含まれます。

スリープキットには、アイマスクと耳栓が入っており、今年4月より客室乗務員が機内でお客様に配布しています。また、お食事の後には水のペットボトルを配布します。飛行時間が12時間以上の超長距離路線では、昨年末よりペットボトルを提供していますが、今年の夏までに他の長距離路線でも提供を開始します。

さらに今年の夏までに、全国際線のエコノミークラスと米国内線のファーストクラスおよびエコノミークラスで配布している機内エンターテインメント用のイヤホンをアップグレードします。デルタ航空は米国航空会社の中で唯一、長距離国際線の全座席に個人用オンデマンド型の機内エンターテインメントシステムを搭載しています。

デルタ航空の機内サービス担当上級副社長、ジョアンナ・スミス(Joanne Smith)は次のように述べています。「デルタ航空では、お客様に機内でより快適に過ごしていただけるよう常に努力しています。お客様が機内で十分にお休みになり、エンターテインメントを楽しみ、リフレッシュした状態で目的地に到着していただけるよう、今回国際線のエコノミークラスに新しいアイテムを導入しました。」

このほかにも、一日5,000便以上のデルタ航空便の全座席に搭載され、世界で最も読まれている機内誌として知られる「SKY(スカイ)」(英語版)のデザインを4月号より刷新しました。新しくなった機内誌は、おもにビジネストラベルに焦点を当て、デルタ航空のお客様の興味に合わせた内容を掲載するプレミアム・トラベル・マガジンを目指しています。

今回の発表は、デルタ航空が業界に先駆け、カスタマーエクスペリエンスを向上するために行っている数十億ドル規模の投資の一環です。この投資には、全ての長距離国際線のビジネスクラスに全席通路側のフルフラットベッドシートを導入(2014年夏に完了予定。日本発着米国・アジア路線は昨年夏に導入済み)や、ビジネスクラスのアメニティキットの刷新(2013年)、米国内線用機材のナローボディ(単通路)機225機の手荷物スペースの拡大と全座席への電源設置(2016年までに完了予定)、ニューヨークJFK空港の第4ターミナル拡張・リニューアル(2013年)や、アトランタ空港の新国際線ターミナルの開設(2012年)が含まれます。

他にも、JFK空港およびアトランタ空港のラウンジ「デルタ スカイクラブ」に屋外テラス「スカイデッキ」を増築(2013年)するなど、世界中に50箇所以上ある「デルタ スカイクラブ」に投資、また40以上の空港での充電ステーションの設置、受託手荷物追跡機能等がついたモバイルアプリケーションの導入、国際線への機内インターネット導入(2015年までに完了予定)などにも投資しています。

デルタ航空について

デルタ航空は年間1億6,000万人以上の搭乗者数と広範なネットワークを持つ航空会社です。デルタ航空はフォーチュン誌の「2013年世界で最も賞賛される企業リスト」の航空業界部門(2013 World's Most Admired Companies Airline Industry List)において、1位を獲得しました。デルタ航空がこの賞を受賞するのは、この3年で2度目です。デルタ航空およびデルタ・コネクションは、世界58カ国、319都市に向けてフライトを運航しています。米国ジョージア州アトランタに本社を置き、世界で約8万人の従業員を擁し、700機以上の主要機材を運航しています。また、航空連合(アライアンス)「スカイチーム」の創立メンバーとして、大西洋路線においてエールフランス-KLM、アリタリア-イタリア航空とともに、共同事業を展

開しています。アトランタ、シンシナティ、デトロイト、ミネアポリス／セントポール、ニューヨーク(ラ・ガーディアおよび JFK)、ソルトレイクシティ、パリ(シャルルドゴール)、アムステルダム、東京(成田)をハブ空港とし、提携航空会社と合わせて一日に1万5,000便以上のフライトを運航しています。現在、総額30億ドルを投じて空港施設やプロダクト、空港および機内での顧客サービス向上とテクノロジー導入を進めています。詳しくはホームページ delta.com をご覧ください。



<報道関係者お問い合わせ先>
デルタ航空太平洋地区広報部
e-mail: corpcommjapan@delta.com
日本語ニュースルーム <http://delta.jp.mediaroom.com/>